

教育センターだより

令和4年度 第1号

黒部市教育センター

ロシアのウクライナ侵攻についての児童の発言から

黒部市教育センター 所長 齊木 裕

今年の2月の末、6年生の社会科に出ていたときのことである。毎時間の初めは、ニュースや報道番組、新聞等で気になったことを話すことになっていた。

「ロシアとウクライナが戦争になったことを知り、とても驚いた。戦争が起きるなんて信じられなかった」(児童M)「なぜ戦争になるんだろう。歴史で国際連盟があったのに、第二次世界大戦が起きた。その反省で、国際連合ができたのに、そこで話合いをしないのかな」(児童K)と発言が続いた。児童は、このとき明らかに戦争が起こることについて、おかしいと感じていた。普段の授業なら、戦争の原因について、タブレットで、調べるところだが、戦地から届く衝撃的な写真や映像が出てきたらと、私の脳裏に不安がよぎったため、調べ活動をしなかった。このとき、どのように戦争や平和について伝えればよいか、どのように授業を進めればよかったのか答えが出ないでいた。その後、5月15日の北日本新聞を見ていると、浜田桂子さんの書いた「へいわってどんなこと?」という絵本が紹介されていた。子供たちの目線から「平和」の意味を描き出した作品であった。日中韓の絵本作家による平和絵本シリーズの一作目で、中国語、韓国語版も出版されているようだ。すぐにその本を読んでみた。すると次の一節が、目にとまった。

へいわって こんなこと。
みんなの まえで だいすきな うたが うたえる。
いやなことは いやだって ひとりでも いけんが いえる。
わるいことを してしまったときは ごめんなさいって あやまる。
(中略)
へいわって ぼくが うまれて よかった いうこと
きみが うまれて よかったって いうこと。
そしてね きみと ぼくは ともだちに なれるって いうこと。
(へいわって どんなこと? 一部抜粋)

何も戦争からアプローチしなくても、逆の平和からアプローチをすればよかったことに改めて気が付いた。当たり前のことであるが、この絵本から平和について考える方が、子供たちに命の尊さ、共存の大切さが伝わるように強く感じた。そして何より、今の何気ない生活が、とてもありがたいことだと気付かせてくれると思った。偶然にも、児童Mやその教室いた子供たちが、黒部市教育センター横の宇奈月町体育センターで部活動の練習をしている。よく挨拶をしてくれる中学生だが、ウクライナ侵攻について現在どう考えているのか、もう一度聞いてみたくなった。

令和4年度 黒部市教育センターの運営について

4月27日(水)第1回運営委員会を開催

本年度の事業計画についてご審議いただきました。下記に示した運営の基本方針並びに重点項目に基づき、いただいたご意見を踏まえ、事業を進めていきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育センター主催の研修事業については、ホームページをご覧ください。



◆ 令和4年度黒部市教育センター運営委員（敬称略）

運営委員長	齊藤 誠	(小学校長会会長・帰国児童生徒教育研究会会長)
運営副委員長	松島 悟	(中学校長会会長・中学校教育研究会会長)
運営委員	小倉 信宏	(学校教育課長)
	平田 恩	(学校教育班長)
	浦田 武治	(こども支援課長)
	金三津ひろみ	(小学校教育研究会会長)
	柴田 由明	(生徒指導連絡協議会会長)
	岸 泉	(小中学校教頭会会長)

1 運営の基本方針 ～黒部市教育の一層の充実～

学校や関係機関との連携を密にし、時代の変化に対応するとともに、地域・学校の要望に応えるセンター運営を目指す。

2 重点目標項目

- ① 児童生徒の学力・体力向上、教員の資質向上を目指す研修会の実施
- ② 黒部国際化教育の充実を図る研修会の実施
- ③ 生徒指導・教育相談の充実(特別支援教育の推進)
- ④ 学校教育を支援する調査・研究の推進
- ⑤ 迅速な教育サービスの提供

<運営委員会での主な意見>

- ・SSWとSCの役割を活かしながら、活用を図っていく必要がある。
- ・センターの研修事業の中に体力の向上に関する研修を入れるのが望ましい。
- ・今年度から林特別支援コーディネーターが配置されたので、幼・保・こ・小・中の連携を図ってほしい。
- ・不登校が年々増えてきているので、11月に予定されている不登校対応の研修を早い時期にする方が望ましい。
- ・平成18年から文部科学省から「教育課程特例校」の指定を受け、取り組んできているが、現在は中学校のみ「教育特例校」指定を受け英会話科を計画・実践している。「ふるさと黒部を豊かに英語で語れる子供」の姿をゴールとして描きながら、これからも進めてほしい。

1 学期に実施した研修についてお知らせします



【学級経営研修会 第1回：4月5日（火）参加者・・・今年度新規採用の先生】

第1回は、4月から数日間の勤務を振り返り、情報交換を行いました。困ったことや悩みを出し合い、互いに共感し合い、同期採用の仲間意識を高めました。

【いじめ問題等研修会 4月21日（木）参加者・・・市内教頭先生】

黒部市教育委員会 平田 恩 学校教育班長より指導講話をいただきました。令和3年度のいじめ・不登校の状況から、いじめ見逃し0を目指す取組や不登校児童・生徒への対応について共通理解を図りました。

【学力向上研修会 第1回：5月9日（月）参加者・・・推進校の先生】

東部教育事務所 指導主事 宮本 宗智 先生を招聘し、「令和のとやま型教育推進事業に向けて、ICTを活用した基礎的な読解力、数学的思考力、情報活用能力等を育成するための授業について」という演題で、推進校（生地小、たかせ小、石田小、村椿小、清明中）の先生方へ、講話をいただきました。その後、推進校で今年度、取り組もうとしていることや進めるに当たっての不安や困っていることなどを情報共有しました。

【生徒指導主事等研修会 第1回：5月18日（水）第2回：6月17日（金）

参加者・・・生徒指導主事、カウンセリング指導員・協力員等】

この研修会は、生徒指導主事やカウンセリング指導員等の連携を深め、指導力の向上を図ることを目的として年間4回開催しています。

第1回は、黒部市教育センター 指導主事・特別支援コーディネーター 林 真奈美 先生から、「児童生徒理解について」という演題で話をしていただきました。その子は何に困っているのか、支援を必要とするのは、どの場面なのか、どのタイミングなのか、チームで考え、行動することの大切さについて学ぶことができました。

第2回は、明峰中学校 カウセリング指導員 藤田 秀樹 先生から「人間関係づくりの実際」という演題で話をしていただき、参加者全員で演習をしました。人間関係づくりゲームは、すぐに実践できるものばかりでした。

【郷土を学ぶ研修会 6月2日（木） 参加者・・・市内の希望された先生等】

はじめに、北方領土史料室で、千島齒舞諸島居住者連盟富山支部 濱松支部長さんから黒部市と北方領土の関わりや北方領土の歴史について話を聞き、史料室を見学しました。その後、生地の清水について、黒部市観光ガイド生地の米屋会長に解説をしていただきながら、弘法の清水、岩瀬家の清水、清水庵の清水等を巡り、飲み比べをしました。黒部市の自然や歴史を知るとても有意義な研修会となりました。



【理科教育講座（自然観察）6月7日（火）参加者・・・市内の希望された先生等】

富山県総合教育センター科学情報部の堀井主任研究主事と二塚研究主事が講師となり、黒部川周辺の自然観察を行いました。新川黒部橋付近の川原での石や植物の観察、中ノ口緑地公園の小川での水中昆虫の観察・採集、黒部市教育センターでの石の観察をしました。黒部川では、まるでパンダのような白黒模様の珍しい石をよく見かけることを教えていただきました。



ようこそ黒部市へ よろしくお願ひいたします
今年度、市内小・中学校に赴任されたみなさんです。



「黒部市に着任して」

石田小学校 主事 吉野 玲央

4月に魚津市の小学校より石田小学校に異動してきました。黒部市の学校に勤務するのは初めてで、日々の事務処理や提出書類等今までと違うところもあり、慣れない仕事に日々奮闘しております。

事務職員としては今年で3年目となり、まだまだ分からないことも多いですが、石田小の子供たちや職場の先生方のために、毎日全力で頑張っていきたいと思ひます。

「五つの花を咲かせよう！」

中央小学校 教頭 矢木 浩樹

子供たちの明るい挨拶、困っている友だちにそっと言葉をかけている姿、前のめりになって友だちの話を聴いている姿、グラウンドをかけまわる姿、そして、みんなの学校を大切にしている姿。そんな姿が毎日の働きがいになっています。今後も、「五つの花を咲かせよう！」を通して互いを大切にする児童の育成に向けて、情熱と愛情をもって取り組んでいきたいと思ひます。

「新たな気持ちで」

桜井小学校 校長 岡本 薫

9年ぶりに黒部市に勤務することになりました。懐かしい先生方や保護者・地域の方々との再会もあり、大変うれしく、また心強く感じています。

子供たちや教職員の笑顔があふれる学校となるように、そしてこれまで長い間お世話になり育てていただいた黒部に少しでもお返しできるように、気持ちも新たに努めていきたいと思います。

「ふるさと黒部に生きる喜びを」

荻生小学校 校長 寺島 紀子

朝校門に立つと、新幹線駅の背後に遠く朝日岳、白馬岳、鋳ヶ岳、烏帽子岳、僧ヶ岳と連なる山々。すぐそばには黒部川から枝分かれして水量豊かに水田を潤す用水。そして元気に続々と登校してくる子供たち。

12年ぶりに地元黒部で働ける喜びを実感する毎日です。このふるさとを愛し、学び、誇りに思う子供たちを育てていきたいと、心新たに思っています。

「子供とともに」

荻生小学校 教諭 長島 珠美

今年度より、再び黒部市教職員の仲間入りをさせていただくこととなりました。素直で元気な子供たちや温かい先生方に支えられて、日々頑張ることができています。

今後は子供たちと一緒に私自身も満足感や達成感を味わうことができるような学級づくりや授業づくりを目指し、子供たちと共に成長していきたいと思います。

「楽しく過ごすことを忘れずに」

荻生小学校 教諭 平野 梨恵

今年度から黒部市勤務になりました。家から見える山、夜に聞こえるカエルの声。毎日穏やかで心落ち着く日々を過ごしています。大きな声でたくさん笑うことが取り柄です。子供たちにはいろいろなことに挑戦したり、失敗もたくさん経験したりすることの大切さを感じてほしいと思っています。たくさん笑いながら一緒に楽しく成長していきたいと思います。

「子供たちと先生方に支えられ」

若栗小学校 教頭 藤田 美智子

3年ぶりに小学校で勤務させていただくことが決まり、コロナ対応やICT等分らないことばかりで、自分に何ができるのかと不安でいっぱいだったのですが、若栗小学校に着任し、子供たちの元気な挨拶の声や先生方の素晴らしいチームワークに支えられ、不安は徐々に消えていきました。今後も子供たちや学校、地域のために貢献できるよう精一杯努めていきたいと思えます。

「5年ぶりの学校」

宇奈月小学校 教頭 若島 肇

5年ぶりに学校勤務となり、毎日がとても充実しています。先日、グラウンドで1年生と鬼ごっこをしました。何とかして私を捕まえようと、いつの間にか鬼が10人以上になり、逃げているのは私一人でした。見ていた高学年児童が、「いつも楽しそうですね」と話しかけてくれました。教職は楽しく魅力的な仕事だと改めて感じています。今後も、やりがいを味わいながら精進して参ります。

「つながりを大切に」

清明中学校 校長 柴田 由明

教員として育ててもらった黒部に4年ぶりに戻ってきました。他地域での経験を少しでも黒部の子供たちのために、教職員のために還元できるよう努めていきたいと思えます。そして、生徒、教職員、地域・家庭とのつながりを大切に、生徒にとって「明日も来たい」と思える学校、教職員にとって「働きやすい」学校を目指していきたいと思えます。

「清明にして芝蘭玉樹」

清明中学校 教諭 佐度 恵子

素直で元気な清明中学生との学校生活は、楽しく充実しています。多忙ではありますが、閑静で緑に溢れ、勇壮な山並みを臨むことのできる環境に心洗われます。我が子がお世話になった学校で、今度は地元の子供たちの学びと成長に少しでも貢献できればと、決意を新たにしています。ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

「ともに」

清明中学校 教諭 山田 尚平

富山市立三成中学校より異動してまいりました。新しい社会を切り拓いていけるような逞しい創造力をもった生徒たちの育成に尽力していきたいと考えております。また、これから教員を目指す方々にとって、この職業が魅力溢れるものとなるような働き方を実現していきたいと思えます。この黒部の地で、生徒たちと共に成長していけるよう頑張ります。

「澄んだところ」

明峰中学校 教頭 島瀬 武夫

澄んだところとは、本校の校歌の一節であり、4月に感じた生徒たちの雰囲気でもあります。昨年、教員生活で初めて生徒の声が聞こえない環境で過ごした私にとって、この雰囲気はとても心地よいものでした。

統合3年目、制服も体操服も1つになった明峰中学校が、澄んだところの生徒たちをたくましく、しなやかに育てる場となるよう、力を尽くしていこうと思えます。

「明峰中学校に赴任して」

明峰中学校 教諭 塩谷 沙織

明峰中学校に赴任して、3か月が経ちました。素直で明るい生徒と、温かい先生方に支えられて日々過ごしています。久しぶりの中学校で緊張していましたが、生徒からエネルギーをたくさんもらっています。部活動では、生徒と一緒に目標に向かって努力していくことに、とても幸せを感じています。これからも素晴らしい生徒たちと共に授業や部活動、行事にチャレンジしていきたいと思えます。

センターからのお知らせ

おたすけ箱ができました！

☐ 学校間共有 > ☐ 黒部市教育センター > ☐ 30 おたすけ箱

多忙な先生方が、0から教材を手作りしなくてもよいように、

「使えるものはみんな で共有しよう！」ということで、

フォルダ「おたすけ箱」を作りました。

中のデータをコピーして、自由にアレンジしてお使いください。

＜入っているもの（7/8現在）＞

- ・「30分でできるケース会議」の資料
- ・指示カード
- ・熟語カード
- ・都道府県名カード
- ・言葉の宝箱カード
- ・インタビューゲーム

これからも、教材のデータ、手作り教材や市販の教材の紹介など、お互いに提供し合える「おたすけ箱」にしていきたいです。皆さんからの教材やツールの紹介もお待ちしています。

検査セットを貸し出します！

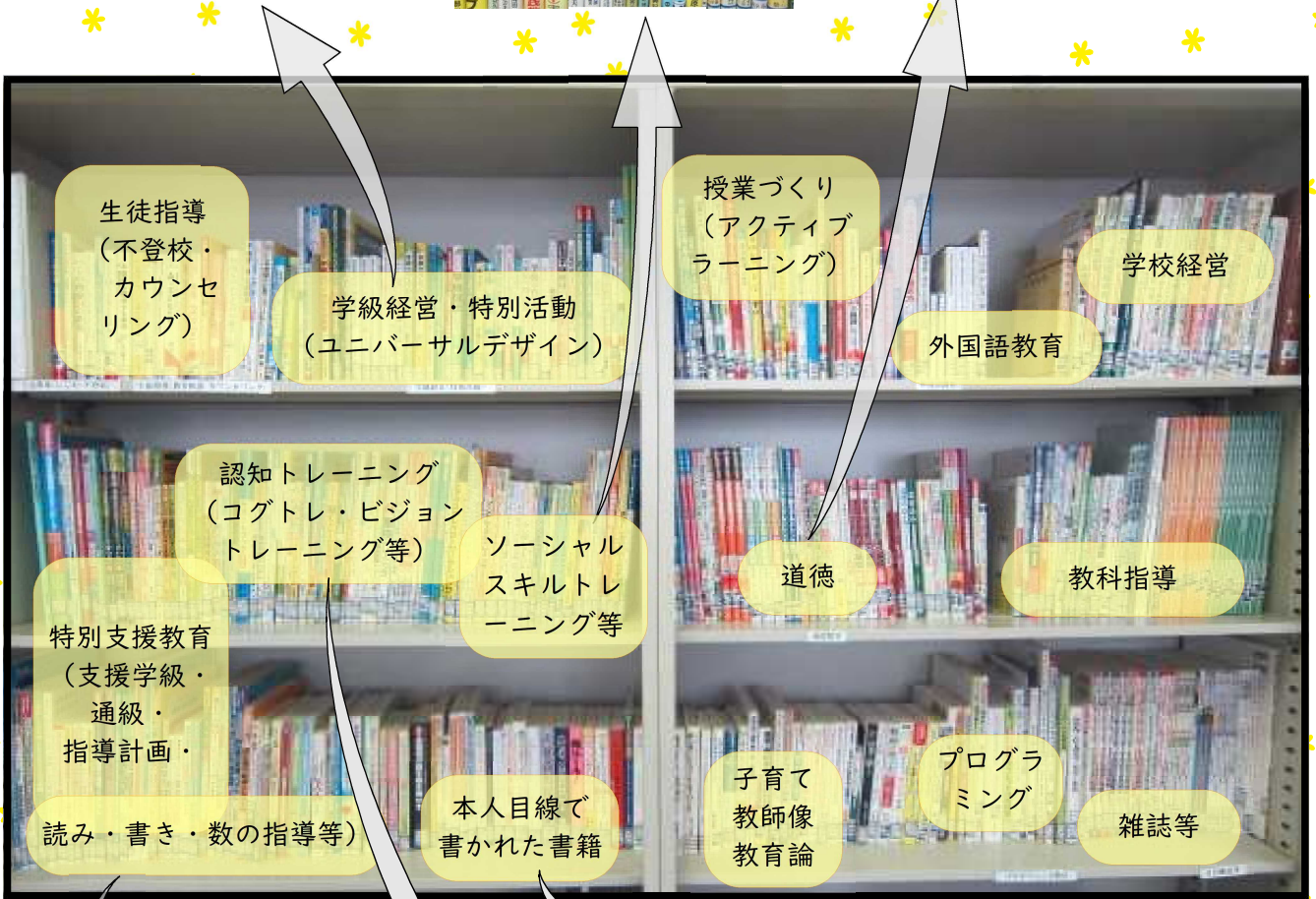
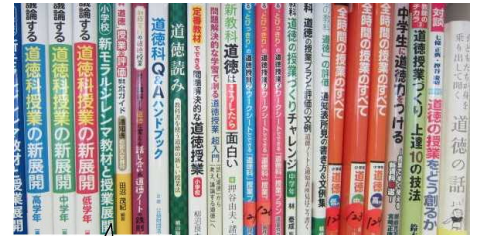
☆センターでは次の検査セットを貸し出しています。ご活用ください。

＜貸し出し検査一覧＞

検査名	出版社	適用範囲	実施時間目安	内容・特色
『見る力』を育てる ビジョンアセスメント	学研	小学1年生～6年生 (中学生以上は 参考値)	短縮版：40分 完全版：60～70分 補助検査：5～10分	3領域（視知覚、目と手の協応、眼球運動）の視覚関連基礎スキルを、10種類の下位検査でアセスメント。弱点の改善を行うドリル付き。
PVT-R 絵画語い発達検査	日本文化 科学社	3歳～12歳3カ月	15分	基本的な語いの理解力の発達度を測定。
S-M社会生活能力検査 第3版	日本文化 科学社	乳幼児～中学生	15分（日常生活をよく知っている大人が回答）	自立と社会参加に必要な生活への適応能力を測定。身辺自立、移動、作業、コミュニケーション、集団参加、自己統制の6つの領域から構成。
Vineiand-II 適応行動尺度	日本文化 科学社	0歳0カ月～ 92歳11カ月	20分～60分	個人的、または社会的充足に必要な日常活動の能力を評価。様子をよく知っている回答者に半構造化面接を行う。
田中ビネー知能検査V	田研出版	2歳～成人	30分～1時間	日本人の文化、パーソナリティ特性、生活様式に即した問題内容。年齢尺度で構成。
就学児版 田中ビネー知能検査V	田研出版	5～6歳	30分～1時間	就学に関して特別な配慮が必要であるか否かの診断に特化。
WISC-IV知能検査	日本文化 科学社	5歳0カ月～ 16歳11カ月	60～90分	10種類の下位検査と5種類の補助下位検査で構成され、5つの合成得点（全検査IQと言語理解指標・知覚推理指標・ワーキングメモリー指標・処理速度指標の4つの指標得点）を算出。

貸し出し本が増えました！

日々の悩みを解決するヒントや、明日からの授業の手がかりが見つかるかもしれません。
 研修会等でお越しの際に、一度手に取ってご覧ください。
 新刊についてはホームページでもお知らせしています。
 ご希望の書籍がありましたら、電話かメールでご連絡ください。
 黒部市内であれば、市庁舎の棚を通して貸し出しします。



【黒部市教育センター貸し出し用本棚】



★ 令和4年度 研究委員・外国語教育研究部員

◎委員長(リーダー) ○副委員長

	社会科研究委員	情報教育研究委員	外国語教育研究部員
生地小学校	◎長井 宗路	笠井 浩信	◎山田 香里、鍋谷真智乃
たかせ小学校	目澤 仁	能澤 紀子	宮崎 史夏
石田小学校	宮寺 克徳	宮寺 克徳	石橋 卓也
村椿小学校	清水 立	山崎 優菜	山本 千夏
中央小学校	芦崎 守	朝倉 貴泰	池亀 未央
桜井小学校	○荻野 靖宗	高松 知樹	館野 遥香
荻生小学校	平野 梨恵	◎霜野 成巳	◎朝倉 真樹子、平野梨恵
若栗小学校	塚本 睦子	川口 なつみ	坪野 結希
宇奈月小学校	中嶋 明子	高澤 光	島瀬 容子
清明中学校		野坂 俊彦	山田 尚平
明峰中学校		○大谷 嘉明	金山 文香

★ 教育センターの職員紹介

所長	齊木 裕	・企画、運営・市教委、学校との連絡調整・調査、各種報告書 ・視聴覚教材
指導主事・ 研究主事	上野 健一	・研修会の企画、運営・県教職員研修の受講申請、計画書、報告書 ・学校訪問研修・外国語教育の充実や研修・教育相談・社会科研究
指導主事・ 特別支援コーディネーター	林 真奈美	・特別支援教育への指導助言・幼・保・こ・小・中の連携推進 ・吉田科学館での団体学習・教科書センター・教育相談
研究主事	延山 麻理子	・帰国児童生徒教育・センターの庶務、予算・経理・教育相談 ・科学展、発明くふう展
校務助手	高瀬 緑	・センターの業務・教材の印刷、整備、保管・文書の受発整理
SSW	板東由美子 能沢 一代	・教育相談(家庭訪問等)・関係機関とのネットワーク構築 (坂東SSW:清明・明峰中校区、能沢SSW:教育センター)

★ ほっとスペース「あゆみ」(場所:黒部市新牧野220 勤労青少年ホーム内)

- ☆ 運営の基本方針
 - ・不登校の児童生徒の実態に即し、成長発達に役立つ活動を実施する。
 - ・相談活動により保護者の心の安定を図るとともに、保護者と連携して児童生徒の支援を行う。
 - ・学校との連携を密にし、児童生徒と保護者を支える。
- ☆ 開設時間
 - ・児童生徒の受け入れ・・・火曜～金曜 9:00～15:00
 - ※ 夏季休業中は週2回程度開所
 - ・相談(電話・面談)・・・火・水・金曜 9:00～16:00
 - 木曜 9:00～17:00
- ☆ 指導者
 - ・教育相談員 住田 繁喜
 - ・指導員 大坪 美幸・松島 知重美
- ☆ 活動内容
 - ・適応指導(運動、料理、工作、個別学習等)
 - ・教育相談



活動場所は、勤労青少年ホーム内2階です。